

鑑賞〔書簡〕

~~~~~

急遽 此協賛いただき、まじれた中部  
児童、生徒硬筆席書大会は、予定  
どおり廿九日市文化会館にて開催、  
幸い好天に恵まれ千名を越す参加  
者を得て、大盛況裡に終了いたした。  
了、まじりて、五月宵多る二時が  
同級ホールにて授賞式と参りいた  
し、いふ行の中と此鑑賞すべし  
此席と似ていふす、此授賞物

◆本会創設者、奥村憲照先生の毛筆による書簡をご紹介します。

◆昭和五十五年、本会創立二十五周年を記念して第一回の硬筆席書大会が開催されました。予想を超える千名以上の参加を得て、後援いただいた教育委員会の先生方に、授賞式にご臨席願えればと、急遽書かれた手紙です。

◆土岐市・多治見市・瑞浪市・恵那市・笠原町の、東濃五市町の教育委員会あてに送られたようです。

◆大会は四月二十九日、五月一日に手紙を出して四日が授賞式。今思えば、時間的に少々無理なお願いという気はしますが、初の大会で多数のご支持を得て、硬筆書写教育の高まりを教育委員会の先生方に直接感じてもらいたいとの、憲照先生の熱い情熱が伝わってきます。

◆丁寧で、かつ筆勢豊かな、そして気品ある憲照先生の筆跡をじっくりご鑑賞ください。

くばるを夫の存びも一人と存じます。  
御にうけでございませうが、都合  
の程は電話でもいただければ幸甚に  
存じます。寸楮こそと神がすが  
一筆ご報告存じます。  
敬白  
昭和五十五年五月一日

土岐市妻木町大書心会

奥村 憲 照

教育委員会

御中

急啓 御協賛いただきました中部

児童・生徒硬筆席書大会は、予定

どおり廿九日市文化会館にて開催、

幸い好天に恵まれ千名を越す参加

者を得て、大盛況裡に終了いたしました。

つきましては、五月四日午後二時から

同館大ホールにて授賞式を挙行いた

します。御多忙の中を恐縮ですが何卒

御臨席を仰ぎ御手ずから御授賞賜わ

らば受賞者の喜びも一人と存じます。

誠にぶしついでございますが、御都合

の程御電話でもいただければ幸甚に

存じます。寸楮にて失禮ですが

一筆ご報告御願いまで。

敬白

昭和五十五年五月一日

土岐市妻木町 大書心会

奥村 憲 照

〇〇 教育委員会

御中

# 第29回 大書心会ペン字展出品要項

主催 書道教育 大書心会  
後援 岐阜県 土岐市 多治見市  
岐阜県教育委員会 土岐市教育委員会 中日新聞社

(公財) 岐阜県教育文化財団

◇公益財団法人岐阜県教育文化財団助成事業

一、会期 平成二十六年十月十日(金)～十月十三日(月・祝)

午前九時～午後五時まで 入場無料

(十月十日は午後一時から 十三日は午後四時まで)

一、会場 セラトピア土岐 ☎0572(54)2120

〒509-5121 土岐市土岐津町高山4番地

一、出品資格 高校生以上

一、出品区分 一科審査会員

二科審査会員(師範)

無鑑査(教範)

一科 (書範～準四段)

二科 (三段～準初段)

三科 (1級～新人)

特別出品(前記を除く支局長・支部長。無審査とする)

○出品区分については、大書心誌九月号現在の規定・かな

の段級のうち、上位の方を基準にして決定する。

○本会の硬筆部に出品していない場合は、所属団体での資

格を明記の上、相当する区分に出品のこと。

一、用具

つけペン・万年筆・ボールペン・フェルトペン・竹ペン

その他硬筆と認められるもの(筆・ペンは除く)

一、作品寸法

一科審査会員・二科審査会員・特別出品・無鑑査

七五cm×一〇〇cm以内(縦横自由)

一科・二科・三科

六〇cm×七〇cm以内(縦横自由)

※いずれのサイズも作品の表装仕上がり(額)の寸法です。

※規定寸法を超えた作品は審査できません。ご注意ください。

一、作品内容

創作、臨書、実用書等自由

一科審査会員…五、〇〇〇円

二科審査会員…四、〇〇〇円

特別出品…四、〇〇〇円

無鑑査…三、五〇〇円

二科…三、〇〇〇円

一科…二、五〇〇円

一、出品申込 出品申込書に必要事項を記入の上、九月十七日(水)まで

に出品料を添えて本部事務局に申込むこと。

※出品申込書は、予め各支局・支部に送付する。個人会員

は本部事務局まで請求のこと。

(A) 展示会場へ直接搬入する場合(表装済作品)

平成二十六年十月九日(木) 午前九時半～十時半

※可能な方は、直接搬入(時間厳守)にご協力下さい。

(B) 本部へ送付(持込み)する場合(表装済作品)

平成二十六年十月三日(金) 必着

(C) 本部へ表装を依頼する場合

平成二十六年九月十七日(水) までに表装依頼書を本部

に請求の上申込むこと。

一、送り先 〒509-5134 岐阜県土岐市泉島田町一-130

書道教育 大書心会

☎0572(55)0567 (FAX 同05558)

一、審査 平成二十六年十月九日(木) 午前十時半から

一、審査員 会長、副会長、一科審査会員(本年度審査員を委嘱)

一、褒賞 一科審査会員…三科について、各区分別に審査し、優秀作

品に次の特別賞を授与するほか、出品者全員に賞状・賞品

を授与する。

大賞・準大賞・会長賞※岐阜県知事賞※土岐市長賞※多治

見市長賞※土岐市教育長賞※岐阜県教育委員会賞※名古屋

市教育委員会賞※土岐市議会議長賞※(公財) 岐阜県教育

文化財団理事長賞※中日新聞社賞・大書心会賞・理事長賞・

師範会賞・入選 (※は申請中)

一、作品鑑賞会・授賞式・搬出

平成二十六年十月十三日(月・祝)

○作品鑑賞会…午後一時から

○授賞式 教育部…午後二時から 一般部…午後三時から

○搬出…午後四時から

※搬出不可能の方には、後日、返送料代引きにて送付する。

作品はすべて未発表のものに限る。

○一人何点出品してもよいが、入賞は一人一点とする。

○上位入賞者の昇段級については別に定める。

○級位の出品者には、一階級進級を認める。

一、その他

## 硬筆 毛筆夏期書道講習会参加要項

### 講習会でステップアップを!

本部主催の講習会を、六年ぶりに開催します。ペン字・毛筆の基礎から作品作りまで幅広く指導します。地区講習会に準じた運営により、どなたも参加しやすい内容となっています。多数のご参加をお待ちしています。

### 記

**日時** 平成二十六年八月二十四日(日)午前九時半受付・午前十時〜午後四時  
**会場** セラトピア土岐・第一(三研修室) ☎〇五七二(五四) 二二二〇  
**内容** 〔講義〕「ペンのかなを考える」 大宮 春 兆  
「つけペンの美しい線の出し方」 岡田 龍 芳  
「教範からの勉強法・半切創作の第一歩」 荻田 蒼 仙

### 〔実習〕 公開添削

ペン字展作品・九月月号例課題・その他自由作品の添削  
★公開添削とは……添削は通常、先生と受講生一対一で行われますが、ここではその添削作品を教材として、周囲の皆さんにも上達のポイントをわかりやすく説明、指導する方法です。

**受講料** 二,〇〇〇円(一律)

※昼食弁当・お茶代及び消費税を含みます。

**申込み** 受講申込書に必要事項を明記の上、受講料と一緒に八月十三日(水)

までに本部事務局あてお申込み下さい。

※受講料は現金書留か、郵便振込み等で前納して下さい。

※受講申込書は各支局・支部長先生または本部事務局までご請求下さい。

さい。

※定員六十名になり次第締切ります。当日の申込みは受付けません。

**その他** ●硬筆、毛筆の実習用具は各自ご持参下さい。

## ペン字展作品の寸法変更について

〔無鑑査以上 七五cm×一〇〇cm以内〕

一昨年からご案内しておりましたとおり、今年から無鑑査以上の作品寸法が、七五cm×一〇〇cm以内に変更となりました。スムーズな運営を目的とした改定ですので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、一科(三科)の寸法は従来どおりです。規定寸法を超えた作品は審査対象外となりますのでご注意ください。

## 作品内容に関する新ルールについて

本会ペン字展は、ペン字専門の展覧会としては規模、内容ともに全国レベルであるとの高い評価をいただいておりますが、一方で古典臨書作品や白文字で書いた作品が、毎年上位入賞する傾向が強いのではないかというご指摘も、以前からありました。

そこで、こうしたマンネリ化を防ぐためにも、昨年から作品内容に関して一部制限を設けることになりました。該当する方には直接ご連絡しておりますが、この主旨を広くご理解いただきたくご案内申し上げます。

### 記

- 1、黒や紺などの濃色の紙に、白・金・銀などの淡色の文字で書いた作品
- 2、古典臨書作品(漢字・かな共)

各クラス別で、右記の1または2の作品が上位三位までに入賞した場合、次回以降、同様の作品を出品しても上位三位までには入賞しない。

※ただしクラスが変わった場合は、この限りではない。

つまり、いわゆる白ヌキ文字で上位入賞した方は次回からは、なるべく黒文字で出品していただきたい、同様に古典の臨書の場合は創作にチャレンジしていただきたいということです。上位入賞する力のある方には、同じ手法によらず新しい境地を開拓して、ペン字展全体を常に新鮮で魅力あるものへとリードしていただきたいと願うものです。

※出品区分が上位のクラスに昇格した場合は、このルールは一旦白紙となり、自由に出品できます。



半切四分の一に書く(8)

締切り 八月二十五日(必着)



神谷葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のこと、その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×一七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕ひろくまなびてきわまらず 博学而不窮 (礼記)  
〔大意〕 広く学んで止まることがない。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤濁も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て、表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べることが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部 Ⅱ 条幅半切四分の一(約六八cm×一七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部 Ⅱ B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フエルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんので、どなたでも出品できます。ただし出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位は発表はしません。

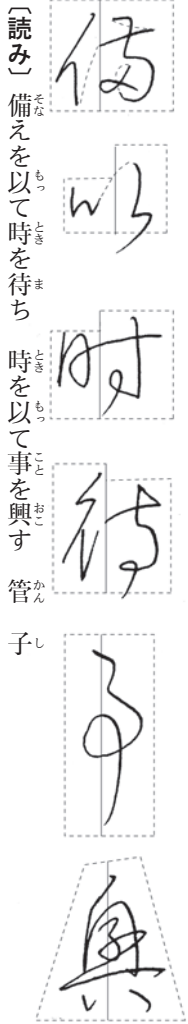
# 一般部規定課題

締切り 8月25日(必着)

準初段から六段まで

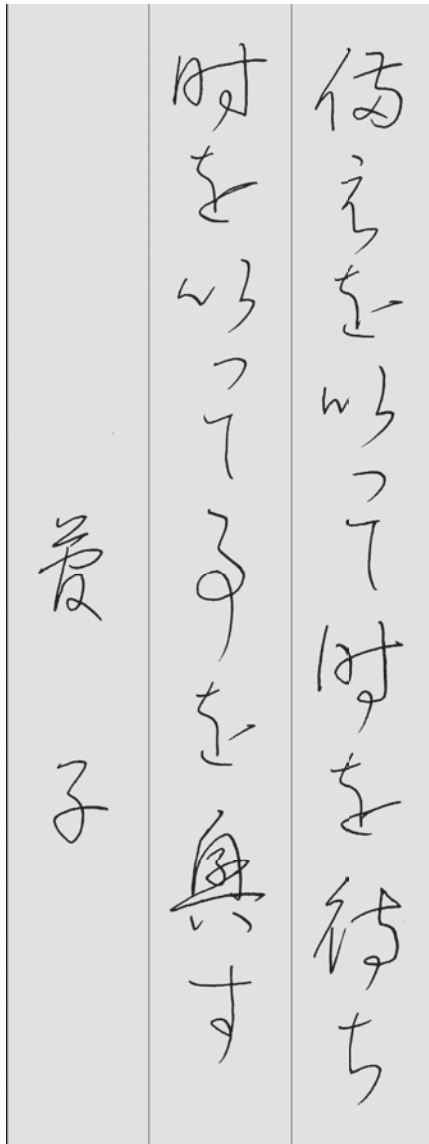
新入から1級まで

〔解説〕



◎草書は線と線の連なりを大切にしながらリズムと回転で楽しく運ペンすると良い。

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

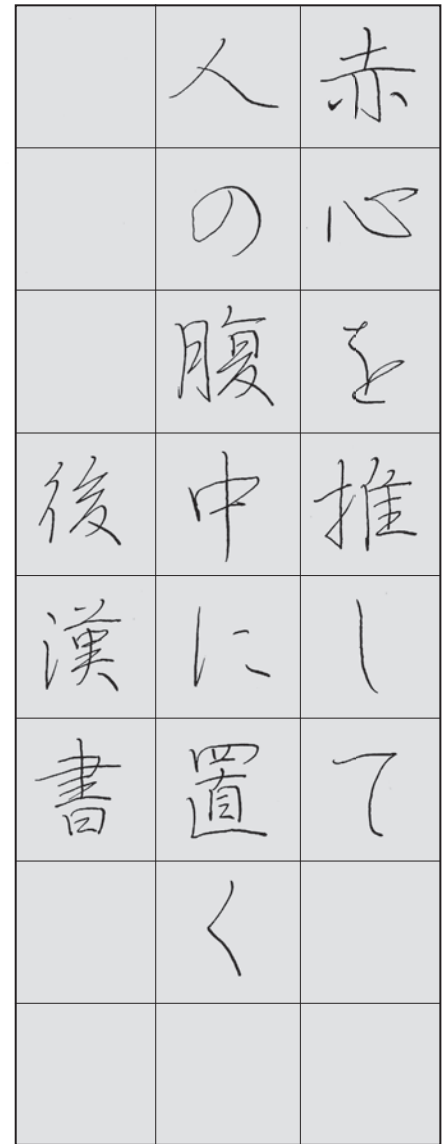
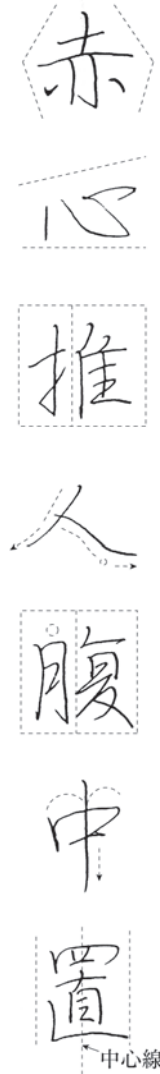


岡田龍芳書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



大谷清城書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆9月課題予告(行書) 「心の窓」はいつでも数を沢山できるだけ広く明けておきたい
- ▼教範・書範⇨楷書
- ▼師範⇨行草または草書

★備えを：(書体⇨行草または草書) 『管子』 中国、春秋時代の齊の宰相、管仲の著と伝えられる書 「周到な準備を整えて好機を待つ。好機到来と見るや、ただちに行動を開始する」という意味でしょう。 どんな仕事でも、普段から十分な準備をしておくこと、そしてチャンスが来たらタイミングを逃さず迅速に行動すること。それが成功の秘訣なのです。

- ◆9月課題予告(楷書) 苦悩を 突きぬけて 歓喜にいたれ

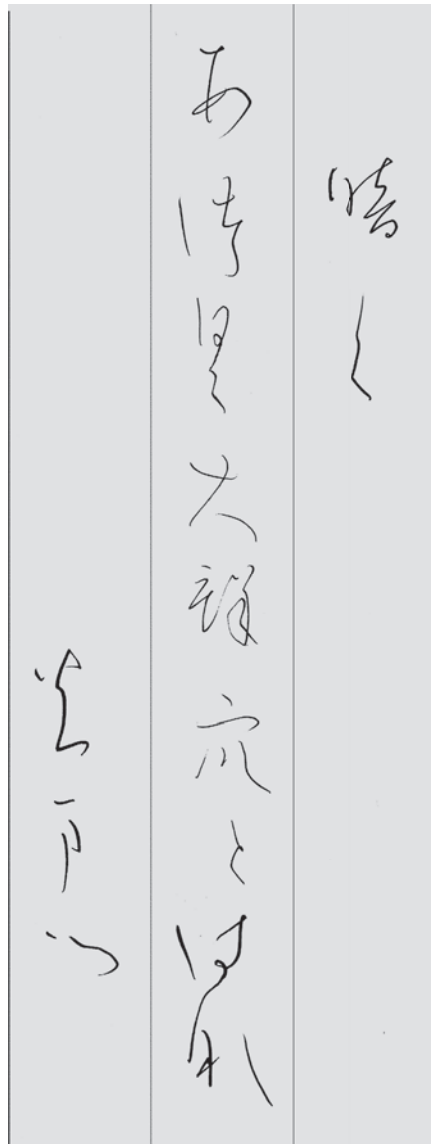
★赤心を：(書体⇨行書) 『後漢書』 中国、後漢時代を記した紀伝体の歴史書 この句は広辞苑に、「まごころを以て人に接し、少しもへだてをおかないこと。また、人を信じて疑わないこと」とあります。 後漢王朝を興した劉秀(光武帝)は、こうした生き方で人心をとらえ、信頼を勝ち得て、皇帝にまで駆け上がっていきました。

# 一般部かな課題

締切り 8月25日(必着)

準初段から六段まで

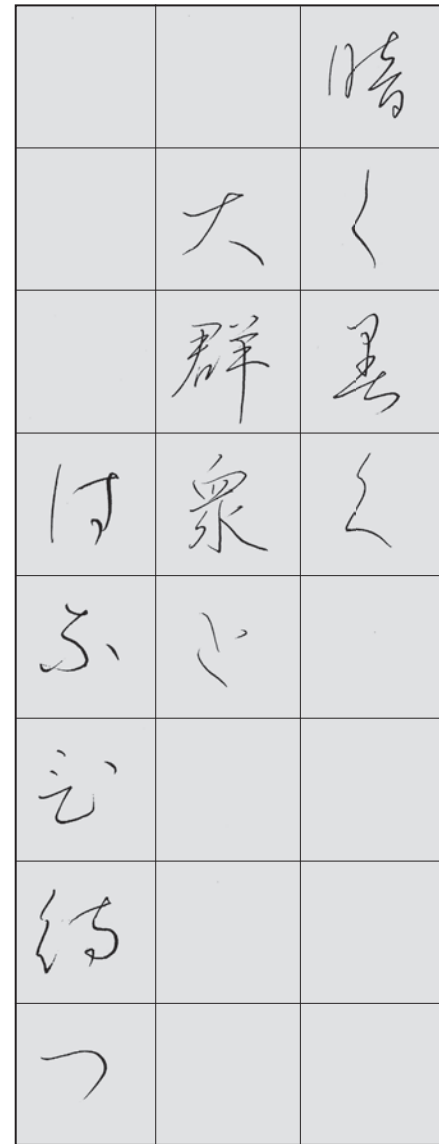
新入から1級まで



暗く暑く大群衆と花火待つ  
あ徒具  
は那  
万川(洲)

暗く暑く大群衆と花火待つ  
は奈飛

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



おお みや しゅん ちょう  
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)  
▷用紙=本会段位用紙

▷用具=自由(黒色に限る)  
▷用紙=本会級位用紙

飛ひ 那な 奈な 具く 徒つ 久く  
飛ひ 那な 奈な 具く 徒つ 久く  
飛ひ 那な 奈な 具く 徒つ 久く  
飛ひ 那な 奈な 具く 徒つ 久く

〔古筆参考〕

がれていることである。

暗く暑く大群衆と花火待つ  
はなびま

(西東 三鬼)

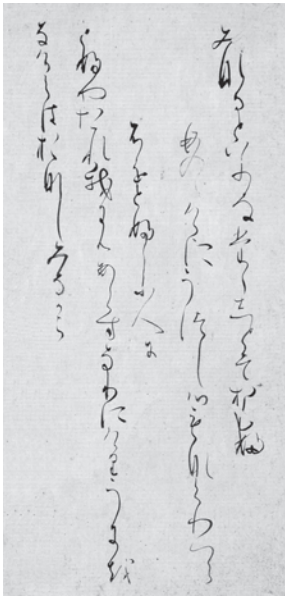
## ◆9月課題予告

桐一葉日当りながら落ちにけり

(高浜虚子)

〔古筆参考〕

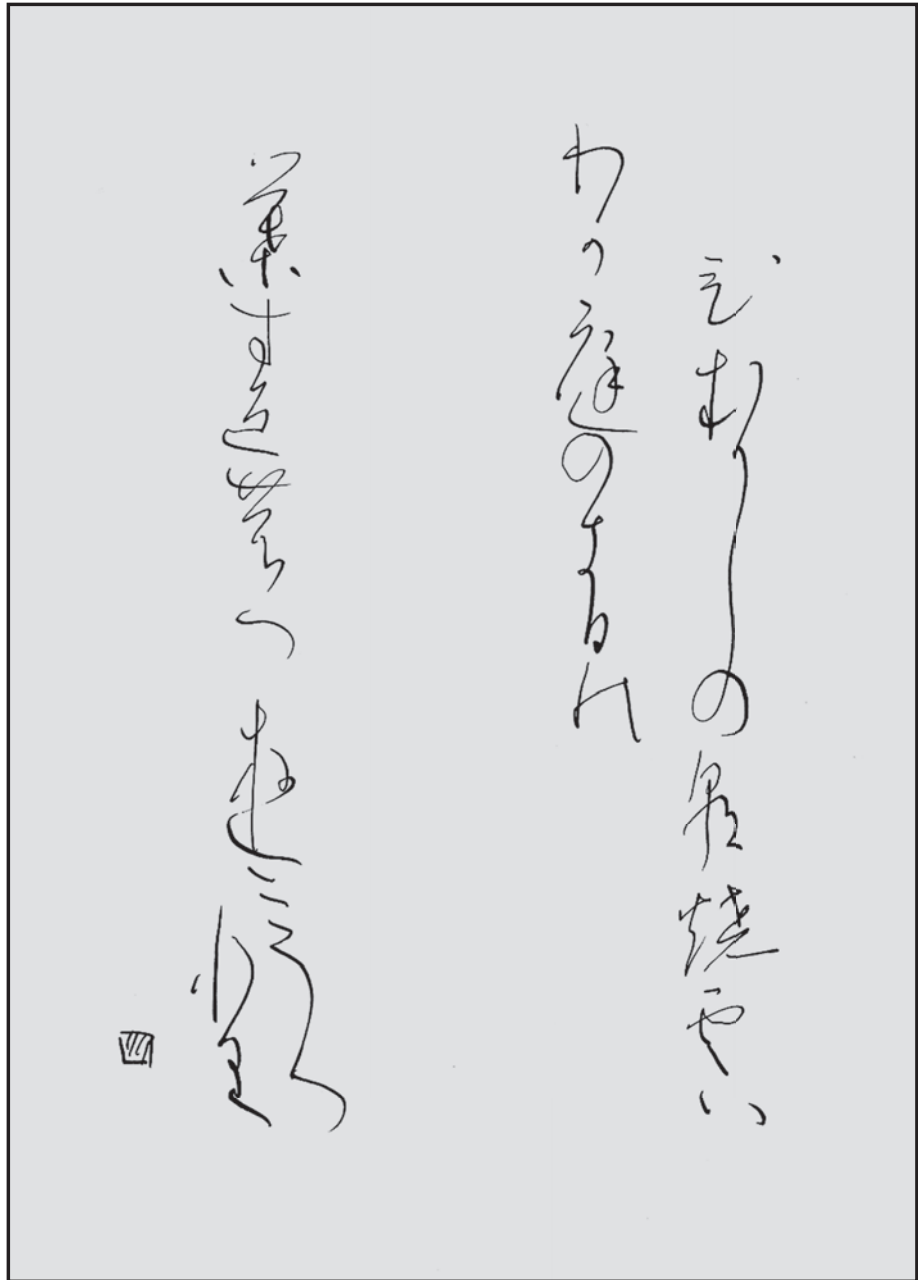
いづみしき ぶそくしゅうぎれ  
和泉式部続集切



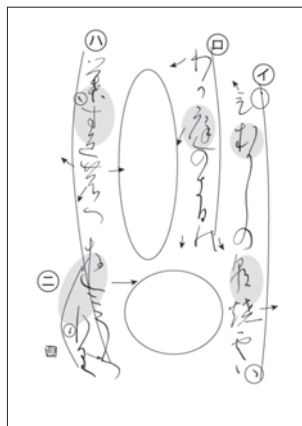
みなるといふなたらしとぞおもふ  
母介徒毛那  
ものゝけにうつし心もなくわづら  
不婦人  
ふをとらふ人に  
とふやたれ我にもあらずなりにけりうきを  
婦尔无寸奈利介里支越  
なげくはおなじみながら  
奈介於那奈可

締切り 八月二十五日(必着)

築瀬舟香書



- ①と△、①と②、②と△、②と①、②と①、  
それぞれ呼応。
- 行の密の動き大切。
- の位置・方向大切。
- ∨ の方向大切。
- 大きな間大切。



〔解説〕

〔歌意〕 東の空の朝焼に染まった雲が、我が家の庭に生えている黍の葉の先に置かれた小さな露に映っている。  
〔出典〕 名歌即訳 若山牧水

飛む可  
ひんがしの朝焼雲はわが庭の  
支目能 患農つ遊二  
黍の葉ずゑの露にうつれり

◆9月課題予告

踏みゆくよ上はかわきて下しめる  
山そばみちの深き落葉を



締切り 8月25日(必着)

先日、姉と仙台へ行ってきました。空はあいにくの小雨模様でしたが、それが街路樹の緑を一層際立たせ「杜の都」を存分に楽しむことができました。次回は、雪の季節に訪ねてみようかと相談しています。

先日、姉と仙台へ行ってきました。空はあいにくの小雨模様でしたが、それが街路樹の緑を一層際立たせ「杜の都」を存分に楽しむことができました。次回は、雪の季節に訪ねてみようかと相談しています。

作品の出し方

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

クーベルタン考案のオリンピック

五輪旗は、五大州を表している。

香川県観音寺市 氏 名

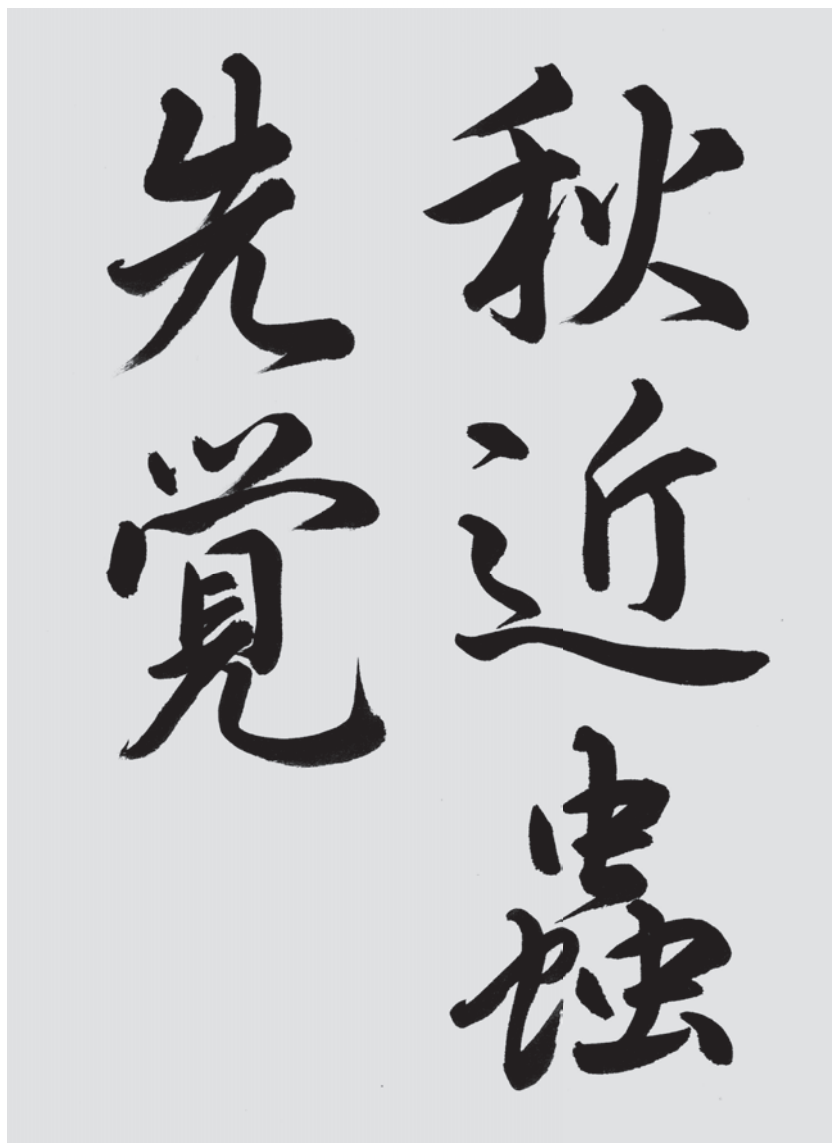
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 8月25日(必着)

新入から1級まで (行書)

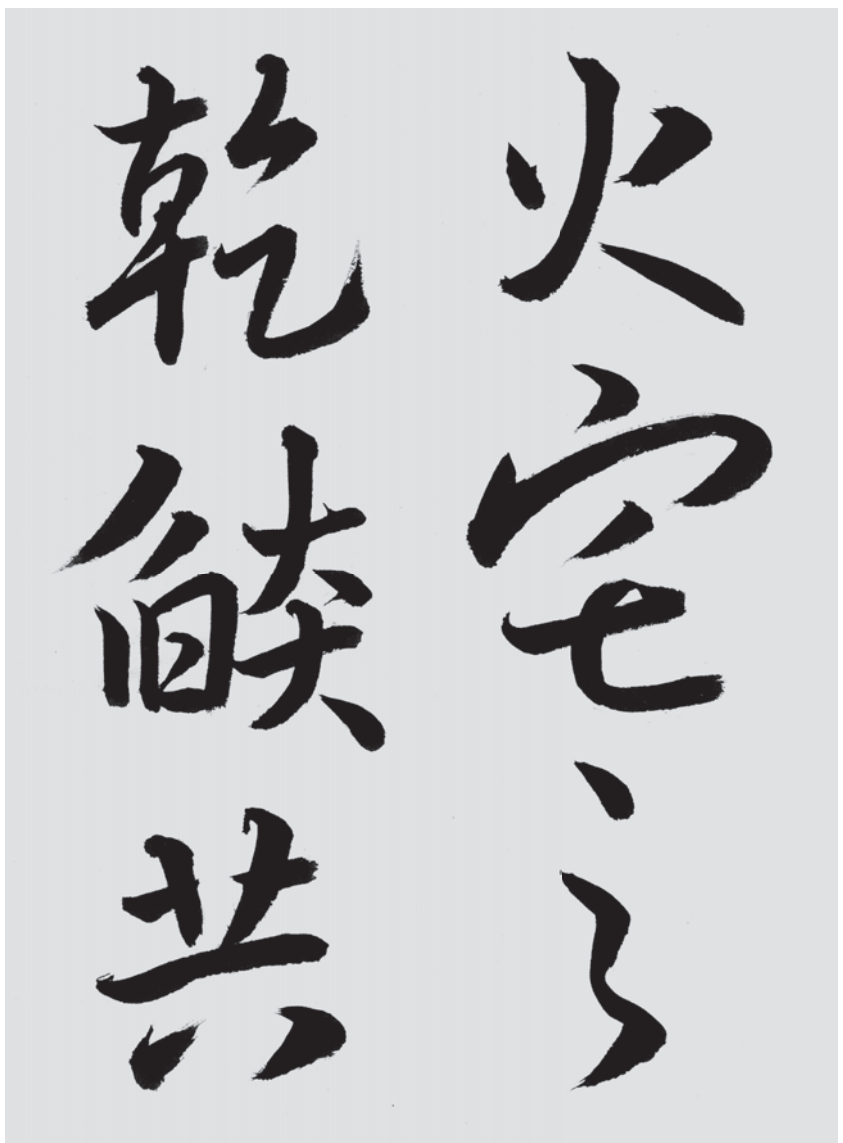
須田一葉書



〔読み〕秋近蟲先覺 (秋近きを蟲先ず覺る)  
〔大意〕虫の音に秋の近いことが知られる。

準初段から師範まで

奥村暢之臨



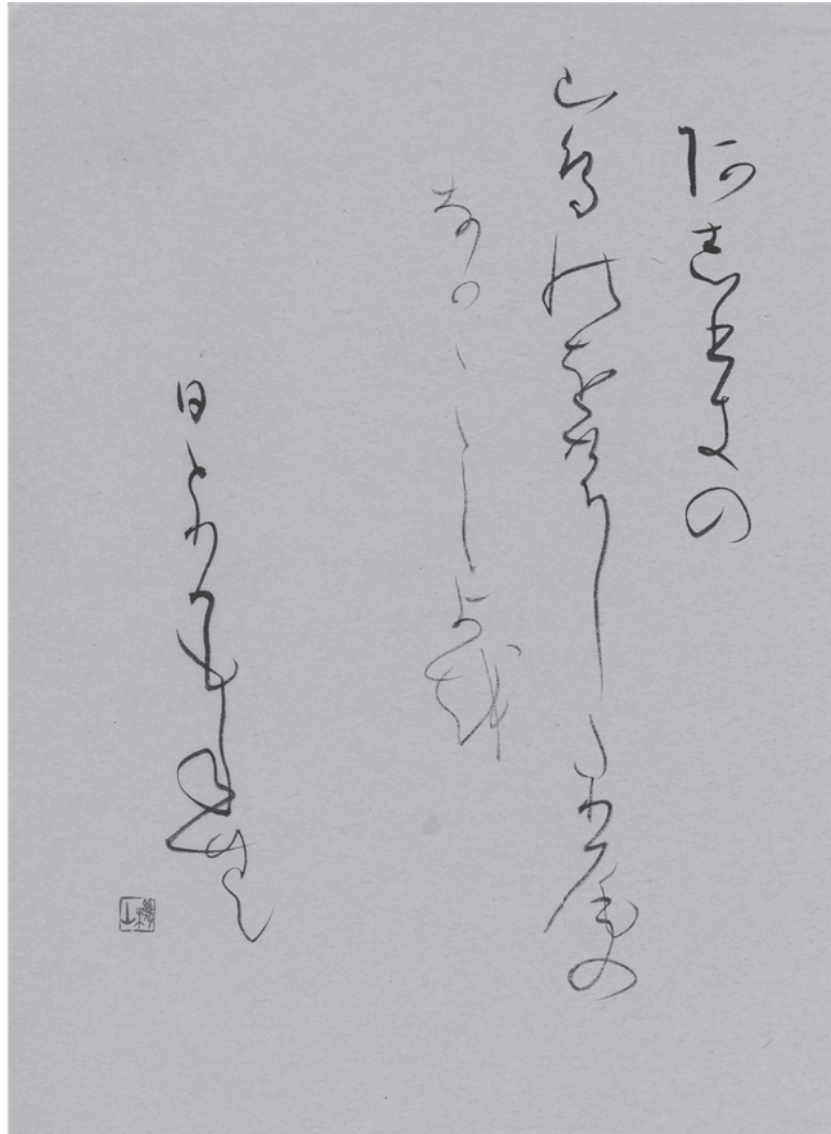
〔出典〕集字聖教序 (672) 〔筆者〕王羲之法書より集字  
〔読み〕火宅の乾燄を (湿らせ、) 共に



火  
宅  
之  
乾  
燄  
共

# 一般部毛筆かな課題

締切り 8月25日(必着)



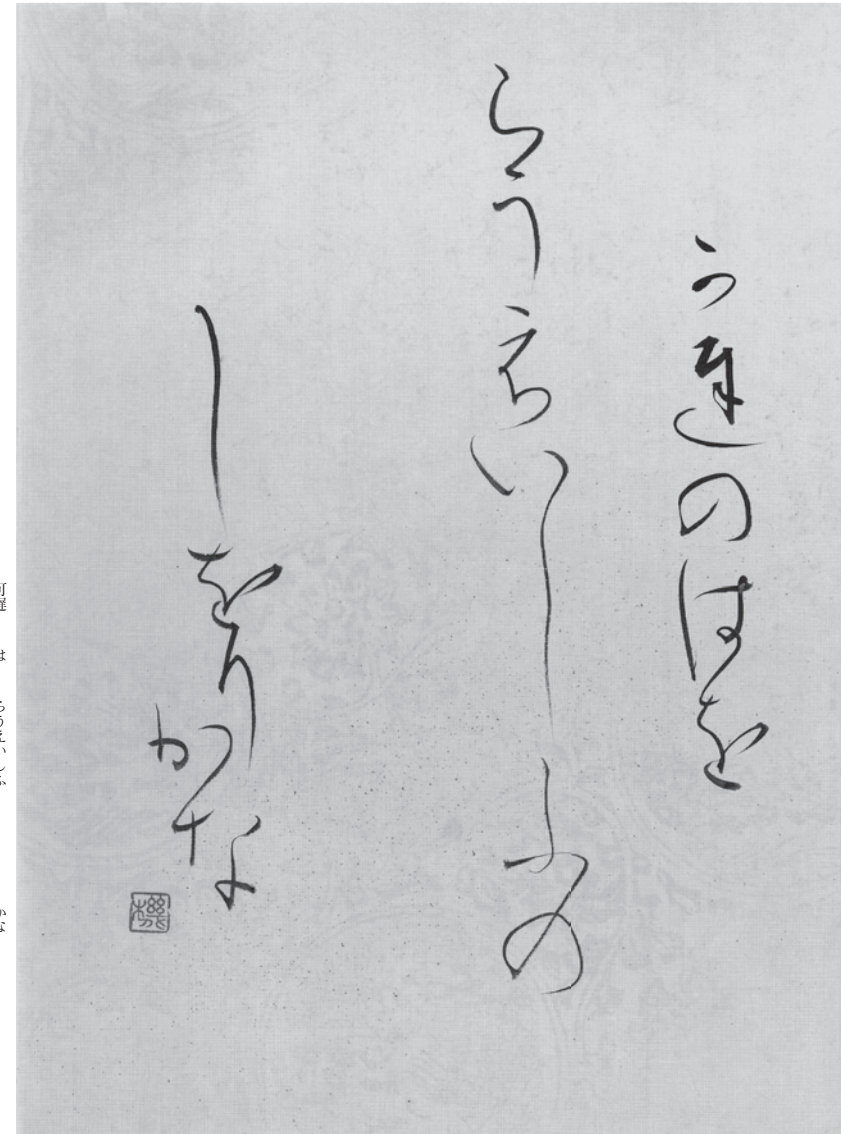
阿志悲文  
あしひきの山鳥の尾のしだり尾の  
能を農多利  
長永し夜乎ひとりかも寝む  
奈可、よ越日利可年無

〔出典〕 作者未詳

〔歌意〕 山鳥の尾の垂れ下がった尾のように長い夜をひとりで寝ることであろうか。

準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。  
可選  
梶の葉を朗詠集のしをり哉  
かな



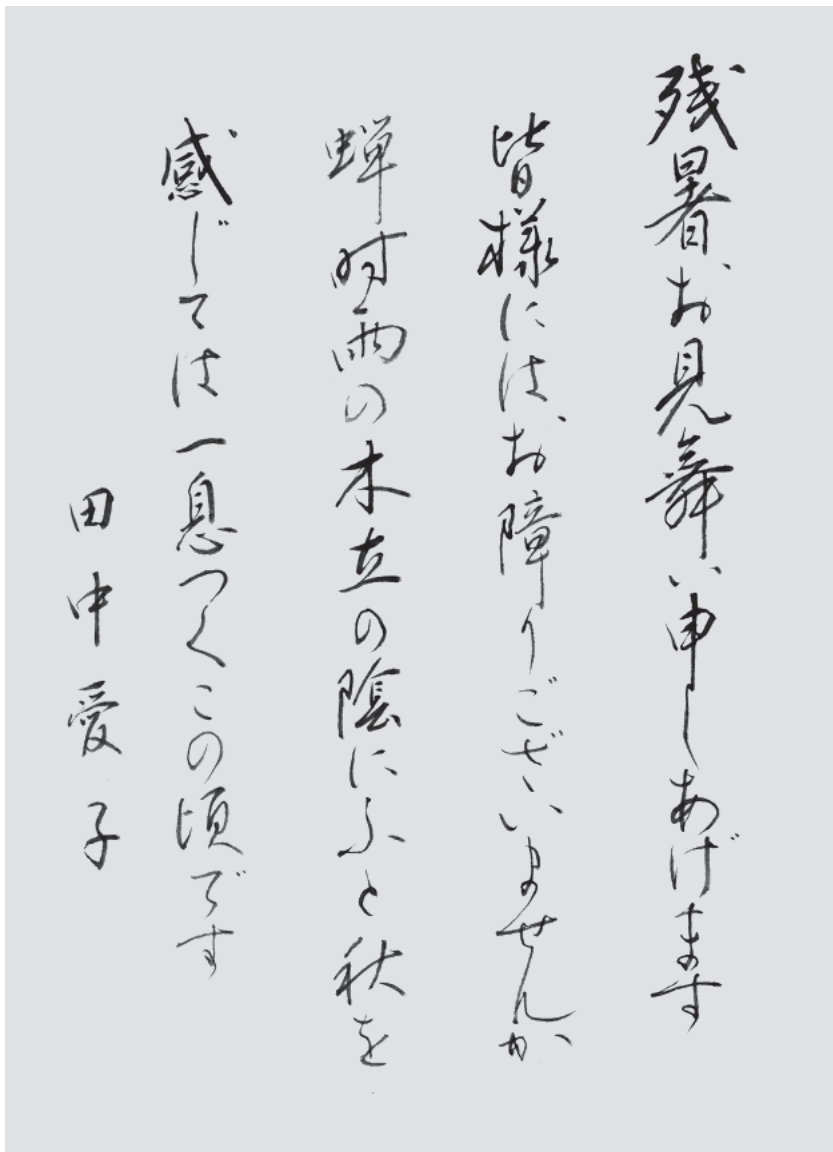
新入から1級まで

浅井機山先生書

〔出典〕 与謝蕪村

〔句意〕 七夕の夜には梶の葉に和歌を書いて星を祭るのである。七夕に縁のある梶の葉を朗詠集のしおりとして挿んでおいた、の意。

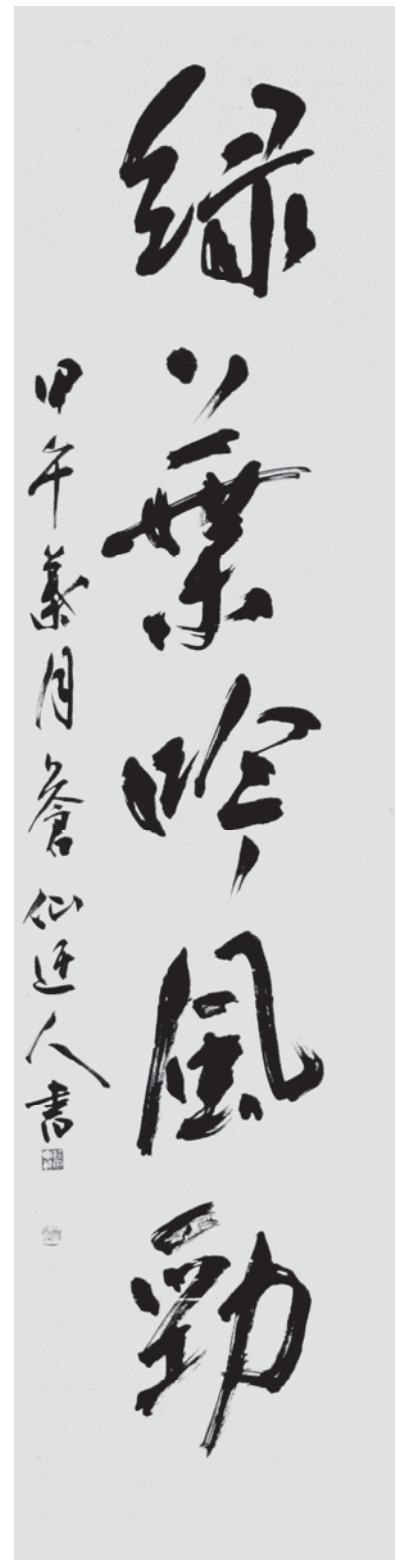
一般部毛筆細字課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

田中 玲華 書

一般部毛筆条幅課題



締切り 八月二十五日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

荻田 蒼仙 書

緑の葉吟風勁

〔大意〕 緑をなす美しきは葉は、風に吹かれて声を立てて強い。

初出品の方へ

支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅解説〕 筆をきれいに整えて書く：反対に筆を歪の状態のまま書くのも稽古です。失敗も多いが予期しない傑作ができます。破筆が多いと品位が落ちますが、敢えて冒険する事も上達の一方法。但し一人よがりにならないで指導を受ける事も大切。

・残暑お見舞い申し上げます

・皆様にはお障りございませんか

・蝉時雨の木立の陰にふと秋を

・感じては一息つくこの頃です

(ご自分の名前)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。

■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。



へようぐく自由(黒色にかざる)

|        |   |        |        |   |
|--------|---|--------|--------|---|
| 1<br>と | 2 | 1<br>に | 2      | 3 |
| 1<br>え | 2 | 1<br>っ |        |   |
| 1<br>か | 2 | 3      | 4      | 5 |
| 1<br>お | 2 | 3      | 1<br>こ | 2 |
|        |   |        | 1<br>り | 2 |

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

|   |   |
|---|---|
| と | に |
| え | っ |
| か | こ |
| お | り |

よ  
う  
年

幼年〜小三年まで  
三宅容玉書

|   |   |
|---|---|
| 用 | み |
| ひ | ち |
| ろ | で |
| う | 千 |

新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

|   |   |   |
|---|---|---|
| ば | ひ | み |
| ん | ろ | ち |
| へ | い | で |
| い | こ | 千 |
| く | う | 円 |

小  
一  
年

準初段以上



自由(黒色にかきぬ)

|   |   |
|---|---|
| ね | 白 |
| こ | い |
| た | 毛 |
| ち | の |

新入1級

|   |   |   |
|---|---|---|
| こ | い | 白 |
| た | 目 | い |
| ち | の | 毛 |
| で | 子 | に |
| す | ね | 青 |

小二年

準初段以上

|   |   |
|---|---|
| か | 部 |
| り | 屋 |
| つ | の |
| け | 明 |

新入1級

※部屋=単語として「部屋」と読みます。

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

|   |   |   |
|---|---|---|
| を | の | 部 |
| つ | で | 屋 |
| け | 明 | が |
| ま | か | 暗 |
| す | り | い |

小三年

準初段以上

〈用具〉自由(黒色に限る)

|                 |   |         |
|-----------------|---|---------|
| ケン<br>一 一 百 夏 夏 | 健 | なつ<br>夏 |
| コウ<br>ノ イ 一 竹 休 | 康 | やす<br>休 |
|                 | で | み       |
|                 | す | も       |

新入1級

|   |   |   |
|---|---|---|
| 日 | 起 | 夏 |
| 健 | き | 休 |
| 康 | し | み |
| で | て | も |
| す | 毎 | 早 |

小四年

準初段以上

|                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| シユウ<br>一 田 田 田       | 集 | 田 |
| キ<br>ハ 金 金 舍 舍       | 本 | 舎 |
| のぼ(る)<br>フ シ ヲ ヌ ヌ 登 | 登 | 虫 |
| サイ<br>オ ザ 採 採 採      |   | 採 |

解説(よく見て習いましょう)

※田舎=単語として「田舎いななか」と読みます。  
小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

|   |   |   |
|---|---|---|
| 登 | 虫 | 田 |
| り | 採 | 舎 |
| を | 集 | で |
| し | や | こ |
| た | 木 | ん |

小五年

(全員)

小四年以上  
岡嶋桂川書

# 教育部硬筆課題

しめきり 8月25日(必着)

〈用具〉自由(黒色に限る)

|   |   |   |
|---|---|---|
| 国 | 留 | 貿 |
| 自 | 易 | 易 |
| 動 | 港 | 港 |
| 車 | 諸 | 諸 |

解説(よく見て習いましょう)

|   |   |   |
|---|---|---|
| 車 | 諸 | 貿 |
| な | 国 | 易 |
| と | へ | 港 |
| 輸 | 自 | か |
| 出 | 動 | ら |

小六年

(全員)

|   |   |   |
|---|---|---|
| 取 | は | 夏 |
| が | 水 | の |
| 重 | 分 | 運 |
| 要 | の | 動 |
| だ | 撰 | に |

中二・三年

(行書)

|   |   |   |
|---|---|---|
| 出 | を | 恐 |
| 掛 | 発 | 竜 |
| け | 掘 | の |
| ま | し | 化 |
| す | に | 石 |

中一年

(行書)

▼小三年以下の課題 さわ 澤 よし 幸 かず 寿 書

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| か | メ | つ | 出 | 花 |
| き | ロ | め | 店 | 火 |
| 氷 | ン | た | で | 大 |
| 食 | 味 | い |   | 会 |
| べ | の |   |   | の |
| た |   |   |   |   |

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 8月25日(必着)

習っていない漢字は  
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 にし 西 わき 脇 せい 聖 えん 園 書

|    |   |    |   |   |
|----|---|----|---|---|
| 済  | 夏 | 涼  | 待 | 友 |
| ませ | 休 | しい | ち | 達 |
| た  | み | い  | 合 | 四 |
| よ  | の | 図  | わ | 人 |
|    | 宿 | 書  | せ | と |
|    | 題 | 館  | し |   |
|    | を | で  | て |   |

◎お手本はつけペン使用



- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
  - 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
  - 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
  - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
  - 一、成績は評価により毎月変わります。
  - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年〜小二年

玉たま  
樹き  
小しょう  
華か  
書







小三〜小五年  
水野の香竹書

中二三  
撮水  
取分

小六く中二三  
年  
奥おく  
村むら  
暢のぶ  
之ゆき  
書

港貿  
易  
小六

※行書はリズムよく筆を運ぶ事が大切です。

掘  
撮  
取

貿  
易  
斃

中一  
斃  
掘  
化  
石